

2012 年 02 月 17 日

清水建設株式会社  
代表取締役社長 [ ] 殿  
清水建設株式会社取締役副社長  
関西事業本部長 [ ] 殿  
清水建設株式会社関西事業本部・大阪支店  
大阪支店長 [ ] 殿

仰木の里まちづくり連合協議会  
会長 [ ]

## 抗議申入書

貴社が学校法人幸福の科学学園より請け負い、昨年 10 月 17 日より強行着工している学校法人幸福の科学学園関西校校舎棟・寄宿舎棟の建築工事について、この間住民の不安が急増していますので、緊急の抗議申し入れを行い、直ちに対処されるよう強く抗議します。

本来、今回ほど大規模な開発や造成を伴う建築工事については、着工前に近隣住民に充分説明を行い理解と不安除去を行って進めるべきものです。しかし、着工後3ヶ月以上経過する今日においても、貴社は住民への説明会を開催せず、強行に工事を進めています。

貴社は、着工前に一度説明会を開催するための事前調整の機会を持っただけです。その際住民側が要望した資料の提示や工事の安全性に関する要望や、さらには説明会を開催しないまま着工することは避けるべきであるとの申し入れも完全に無視して、工事を一方的に強行してきています。こうした貴社の蛮行に、住民は何度も抗議や改善要望を行ってきましたが、要望に対する回答も改善もされずに今日に至っています。

この間、工事用大型車両の傍若無人な走行や子ども達の通学の妨げになる工事実施などいくつものトラブルが発生しており、住民不安は日を追うごとに増してきています。

こうした状況がある中で、去る2月9日には、幸福の科学学園建設予定地から建設工事に伴う排水と推測される白色汚濁水が配水管より御呂戸川に直接流れ込んでいるのが確認され、その後同月12日にも同様の事実が確認されています。

御呂戸川は琵琶湖に流入する一級河川であり、漁業や滋賀・京都・大阪の飲料水の水源として活用されている琵琶湖は、日本最大の資源湖として水質管理には最も配慮を必要とされている湖です。

今回貴社が起こした汚濁水の放出による水質汚濁は、びわ湖水を飲料水とする住民の健康被害を引き起こす可能性のある非常に重大な問題であると同時に、琵琶湖の生態系にも影響を与える重大な事態です。

即刻建設工事を中止し、原因の究明を直ちに行うとともに、漁協や地元住民等関係者への説明を行うよう強く要望します。また、原因究明と改善方法が示される迄、工事を停止するよう強く申し入れます。

なお、原因および改善方法については2月24日までに回答下さるよう申し入れます。

以上

返信先

[ ]
-----